

MWPダイナミックルールとは、特定の条件が満たされたときに自動的に処理を行いたいアクションをセットする機能です。一斉エンロールや一斉通知に使われます。
 ※条件の一部は組織構造やプログラムなど、Moodle Workplace固有機能の実装が前提になります。

1. ランチャーメニューからダイナミックルールをクリックします
2. 「新しいルール」をクリックし、「名前」を入力します
3. 「条件」タブに切り替え、左側の条件リストから「部門にユーザがいます」を選択します
4. 右側の部門選択から「組織構造の部門」を選択し、「変更を保存する」をクリックします

構造に応じて、「下位の部門を含む」のチェックを有無を指定します。
 構造に応じて、「ジョブ開始日以降」の日付とチェックの有無を指定します

5. 「アクション」タブに切り替え、左側のアクションリストから「ユーザをコースに登録」を選択します
6. 右側のコース選択から、エンロールしたいコースを選択し、「変更を保存する」をクリックします

※コースは連続して選択できません
 複数コースにエンロールしたい場合は、左側のアクションリストから「ユーザをコースに登録」を選択後、コースを選ぶ作業を繰り返します

7. 「条件」と「アクション」の設定を済ませたら、最後に「有効化」をクリックします
 有効化すると条件がロックされ編集できなくなりますので、しっかり確認してから有効化します

8. アクティブなルール一覧に作成したダイナミックルールが表示されます。左側のトグルがONになっていると、ルールが有効になっています。無効にしたい場合はOFFにします。

名称	タグ	条件	アクション
<input checked="" type="checkbox"/> stg_コースエンロール		ユーザは部門 '管理部' に割り当てられています サブ部門: バックアップ対象外	コース 'stg_Sample Course' に登録する ロール: 学習者 グループ: なし



MWPダイナミックルールとは、特定の条件が満たされたときに自動的に処理を行いたいアクションをセットする機能です。一斉エンロールや一斉通知に使われます。
 ※条件の一部は組織構造やプログラムなど、Moodle Workplace固有機能の実装が前提になります。

◆ 各種編集

- ◆ 名称をクリックするとルールの編集画面になります。一度ルールを適用し、影響を受けたアカウントがいる場合は、編集ではなく、新しいルールを作成しましょう。
- ◆ 編集マークから「複製」をクリックするとこのルールを複製することができます
- ◆ 編集マークから「レポートを閲覧」をクリックすると、このルールに対するレポートが表示されます。正しく処理が行われたかを確認する際に便利です。
- ◆ 作成したルールを削除したい場合は、編集マークから「アーカイブ」をクリックしてアーカイブ化してから、「アーカイブ済」タブに切り替え、編集マークから「削除」を選びます

名称	タグ	条件	アクション	作成された日
<input checked="" type="checkbox"/> stg_コースエンロール		ユーザは部門 '管理部' に割り当てられています サブ部門: バックアップ対象外	コース 'stg_Sample Course' に登録する ロール: 学習者 グループ: なし	25/01/20
<input type="checkbox"/> stg_サンプルダイナミックルール		プログラム 'stg_サンプルプログラム' で「完了」ステータスのユーザ	認定証 'Certificate demo template' をユーザーに発行します	

- 複製
- アーカイブ
- レポートを閲覧

◆ 挙動

- ◆ ルールの実行はcronに依存するケースもあるため、実行までに多少のタイムラグが生じる場合があります
- ◆ ルールを有効化にしておくと、組織構造でジョブが追加されたアカウントは、随時処理対象になります
- ◆ ジョブから外されたアカウントは、レポートの「一致しない日時」に情報が表示されますが、コースから自動的にエンロールが外れるわけではありません